

3

陸前高田市

① 官民連携による持続的なまちづくりビジョンの策定

ポイント



- ① 地元主導でビジョン策定手法を企画し、検討体制を構築。まちづくり会社が事務局となり牽引
- ② 視察の学びを広く共有し、積み重ねた議論の結果をビジョンづくりに反映
- ③ 行政・まちづくり会社・事業者のそれぞれの視点から、まちづくりの取組を学ぶ

<令和4年度の実績成果>

- 新たなまちづくりに向けた機運の醸成と官民連携プラットフォームの基盤形成。
- 友好都市である名古屋市との連携によるまちづくりビジョンのランドデザイン策定と名古屋市視察によるまちづくりビジョンのアウトライン検討。

<今年度（令和5年度）の実績成果>

- 官民連携プラットフォームの組成と継続的なビジョン策定の仕組みづくり。
- 『高田まちなかビジョン 2023』（案）の作成と、実践したい具体施策の提示。
- 同じ背景-課題を持つ三陸沿岸他都市の視察により、相対的な市の特徴を把握し客観的に再評価。
- 視察会・委員会・報告会等を地元主導で企画実施することで、持続的に議論できる体制づくりを構築。

<今後の方向性>

- 高田まちなかビジョンの具体施策の内、優先順位の高い施策の実践。
- ビジョンの具体施策を実現していくための、官民連携の役割分担と実施体制を構築。
- 視察先の知見などから、施策を実現するための手法や仕組みづくりを検討。

所在地：岩手県陸前高田市

主な用途：官民連携によるまちづくり再生ビジョンの策定

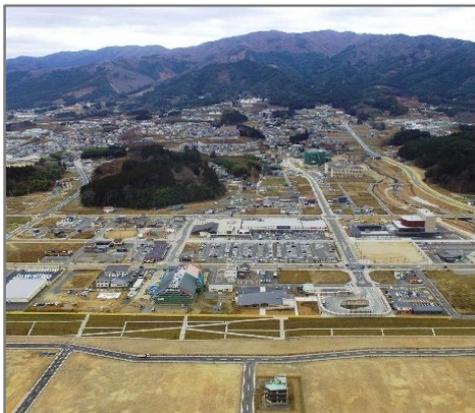
■ 位置図



1. 目的と背景

持続可能なまちづくりに今後発展させるためのまちづくりビジョンの策定と体制づくりに向け、学ぶ機会と議論する場を創出

- 嵩上げ部に多く残る未利用地を、地域振興策により需要創出すべく地元・民間主導の官民連携まちづくりで、中心市街地のにぎわいづくりに取り組んでいる。
- 昨年度までの市内外のまちづくり団体と連携した中心市街地の魅力向上に向けた実証実験等により、官民連携のまちづくりの機運を醸成、議論を開始。
- 今後の持続的なまちづくりに発展させるため、今年度、まちづくり会社「陸前高田ほんまる(株)」が主体となった官民連携体制の拡充、まちづくりビジョン策定と具体施策に繋がる地元主導の取組実施を図る。



中心市街地エリア現況
(2020.12.9 撮影)



一本松ホール(左奥)の南側(右側)がホテル建設予定地
(2020.12.9 撮影)

2. 取組にあたっての課題

土地利用全体の取組をより加速化し持続可能なまちづくりへと発展させるため、官民連携体制を拡充し、持続的なまちづくりに向けたビジョンを策定する上で、以下の課題がある。

- ・ 推進体制の刷新（既存の体制を活用した検討を深化させるための場づくり、若手層の参画等）
- ・ 昨年度に作成したビジョン草案を具現化するためのきっかけ・方策
- ・ 検討のサイクルを形成するための仕組みづくり（これまでは適宜）

3. 今年度の取組項目

昨年度までの2カ年の取組を展開し、官民連携体制でまちづくり・土地利用のビジョンを検討・策定し、今後、中長期での土地利用推進の基盤づくりを目指して、以下の取組を実施。

I 官民連携による推進体制の構築

- ・ 民間主導で行政が伴走支援を行う推進体制を構築

II 他都市への視察研修による知見整理・事例収集

- ・ 同様な課題に取り組む他都市の視察研修による学びの機会をつくり、官民で情報共有し、知見を整理

III ビジョンの検討・策定

- ・ 将来像や取組方針、具体施策等を整理する「まちづくり・土地利用ビジョン」の検討・策定

IV ビジョンを踏まえた土地利用の試行検討

- ・ 区画整理事業の高上げ部を対象としてビジョンを踏まえた土地利用の試行検討

4. 取組経過や主な調整プロセス

6～9月 まちなか会に「ビジョン委員会」を設置、ほんまる(株)が事務局運営。

- ▶ まちなか会においてビジョン委員会を設置（7月）。
- ▶ 三陸沿岸南側の視察①を実施(9/11)。報告会を実施し、視察での学びを共有し、ビジョン作成に向けた意見交換を実施(9/28)。

10～12月 三陸沿岸他都市の視察により、当市の魅力を客観的に再評価

- ▶ ビジョン委員会においてビジョンたたき台を作成。
- ▶ 産業まつり(10/21-22)と同時開催で、まちなか会主体で本丸公園通りの歩行者天国を活用した『本丸ストリートまつり』を実施。
⇒具体施策の歩行者天国の活用を試行的に実施。
- ▶ 三陸沿岸北側の視察②を実施(11/7)。2回の視察での学びを基にワークショップで意見交換を実施(11/22)し、結果をビジョンづくりに反映。

1～3月 先進事例で持続的なエリアマネジメントと官民連携の必要性を学ぶ

- ▶ ビジョン委員会にて『高田まちなかビジョン 2023』(案)を作成。 ※p3-1-4 上段参照
- ▶ 大分県（豊後高田市/竹田市/由布市）への視察③を実施(1/29～31)。まちなか会全体会(2/16)にて、視察報告、ワークショップで議論し、合意形成を図る。 ※p3-1-4 下段参照

ポイント①

地元主導でビジョン策定手法を企画し、検討体制を構築。まちづくり会社が事務局となり牽引



視察①石巻市（説明/質疑応答）

ポイント②

視察の学びを広く共有し、積み重ねた議論の結果をビジョンづくりに反映

ポイント③

行政・まちづくり会社・事業者のそれぞれの視点から、まちづくりの取組を学ぶ



まちなか会でのビジョン検討

■ 市内外のまちづくり団体等と連携した中心市街地の魅力向上の実施体制

陸前高田市(土地活用推進課・商政課)が実施主体、陸前高田ほんまる(株)が実施団体となり、地元団体と連携して実施

行政においては土地利活用を推進する土地活用推進課と産業振興を推進する商政課が実施主体、民間事業者においては地元のまちづくりを担う陸前高田ほんまる(株)が主体となり、高田まちなか会や陸前高田商工会と連携して、まちなか再生ビジョン(仮称)策定に向けた取組を実施。

実施主体：

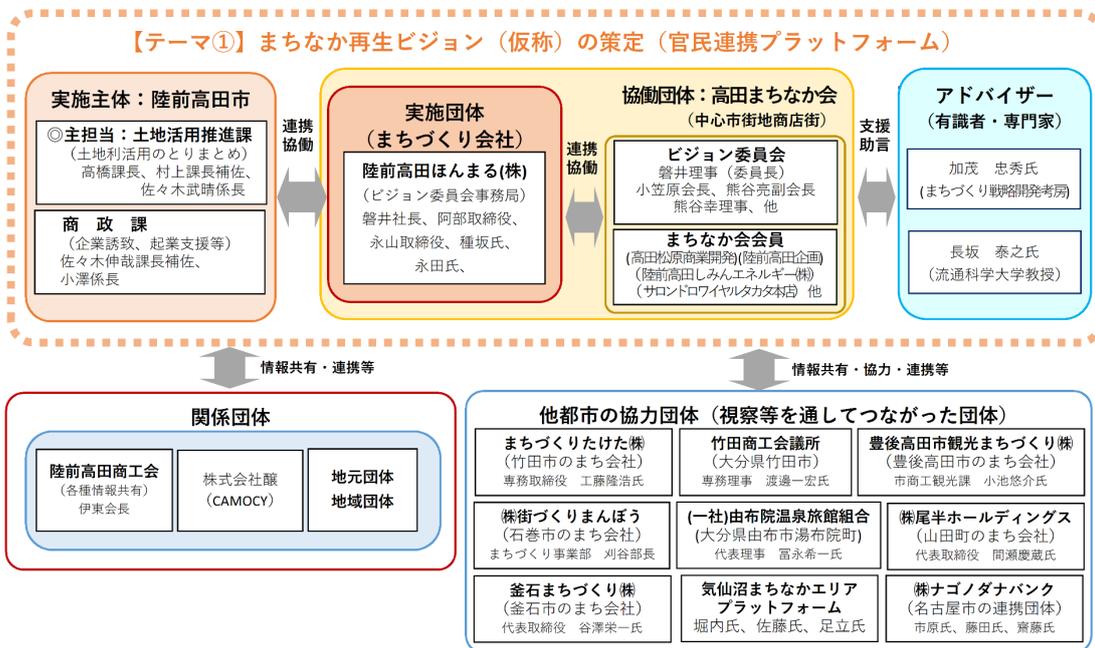
- ・ 陸前高田市 (建設部土地活用推進課・地域振興部商政課)

実施団体：

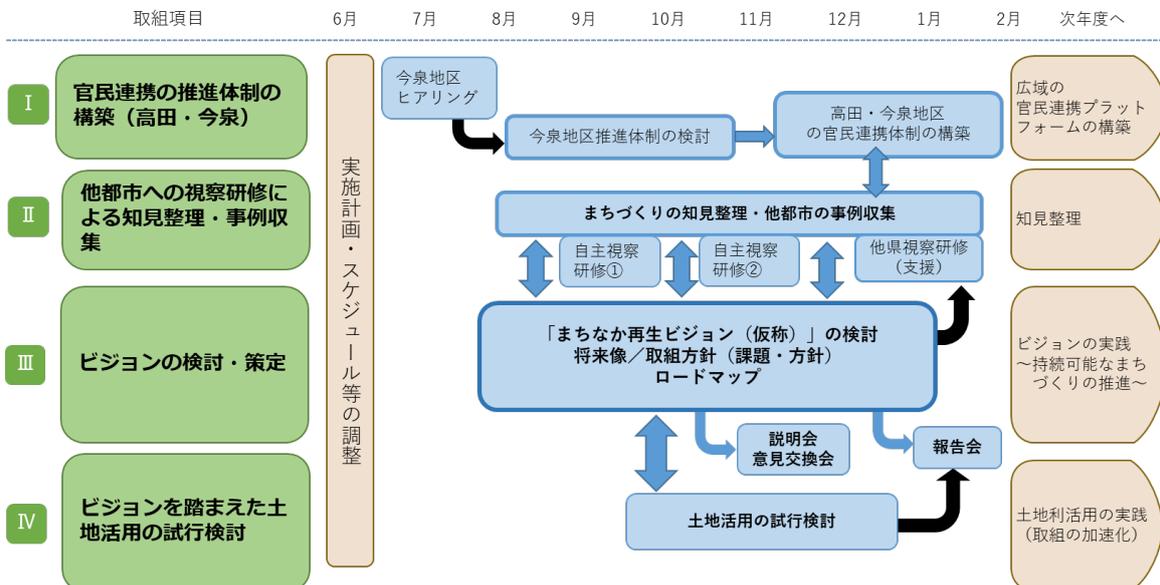
- ・ 陸前高田ほんまる (株)

連携・協働団体：

- ・ 高田まちなか会
- ・ 陸前高田商工会



■ 取組工程



■ 取組成果や重要な検討資料等

○『高田まちなかビジョン 2023』（案）（配布版イメージ）

6つの方針
高田らしさを生かした
何れも訪れたいくなるまち

| | | |
|---|--|---|
| <p>① 高田の資源を生かした循環型のまち</p> <p>人の心豊かな生活文化や、豊かな自然環境を生かした循環型のまちづくりを目指し、再訪の魅力を高める施策を推進します。</p> | <p>② 再訪の魅力があり歩きたくなるまち</p> <p>伝統的景観の維持・再生や、新たな魅力を創出し、再訪の魅力を高める施策を推進します。</p> | <p>③ 空き地を前向きに生かすまち</p> <p>新たな価値を生み出すための活用を促し、まちの活性化を図ります。</p> |
| <p>④ やさしさとおもてなしを感じるまち</p> <p>誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりを目指し、おもてなしの心を育みます。</p> | <p>⑤ 多様な人が関わるオープンなまち</p> <p>多様な人々が集い、交流する機会を創出し、まちの活性化を図ります。</p> | <p>⑥ 事業者の努力が積み重なったまち</p> <p>事業者の創意工夫や努力が、まちの活性化につながります。</p> |

妄想マップ 2030

○『高田まちなかビジョン 2023』（案） 6つの方針

| | | | |
|--|---------------------------|---------------------------|------------------------|
| <p>6つの方針</p> <p>高田らしさを生かした 何れも訪れたいくなるまち</p> | <p>① 高田の資源を生かした循環型のまち</p> | <p>② 再訪の魅力があり歩きたくなるまち</p> | <p>③ 空き地を前向きに生かすまち</p> |
| <p>④ やさしさとおもてなしを感じるまち</p> | <p>⑤ 多様な人が関わるオープンなまち</p> | <p>⑥ 事業者の努力が積み重なったまち</p> | |

○大分視察 (1/29~31)



【豊後高田市】 ■昭和ロマン蔵 ■説明会（ロマン蔵の教室内） ■案内ガイドさんと一緒にまち歩き



【竹田市】 ■竹田市城下町交流プラザ ■説明会（多目的ホール内） ■まち歩き「みんなのいえカラフル」 ■空き地利活用(チャレンジスペース)



【由布院】 ■ツーリストインフォメーションセンター ■旅館組合長 富永氏 ■まちなか会メンバー ■湯の坪街道(まち歩き)

■高田まちなか会 第3回全体会（2024年2月16日）ビジョン（案）の意見交換（ワークショップ）



5. 今年度の取組成果

成果1 「官民連携プラットフォームの組成と継続的なビジョン策定の仕組みづくり」

- ▶ プレーヤーとなる地元主導のビジョン策定により、継続的な推進体制づくりを実現。

成果2 「『高田まちなかビジョン2023』(案) (詳細版・配布版)の作成と実践したい具体施策の提示」

- ▶ まちづくりの方針・取組を常に手元で確認できるように「配布版(概要版)」を作成。
- ▶ 実践したい具体施策の議論を積み重ね、「妄想マップ2030」に施策を記載し、ビジョンとしてとりまとめた。まちなか会の既定の委員会(広報・まちゼミ・にぎわい・環境)に具体施策を振り分け、次年度以降の取組みの検討項目として整理した。

成果3 「同じ背景-課題を持つ三陸沿岸他都市視察により、相対的な市の特徴を把握し客観的に再評価」

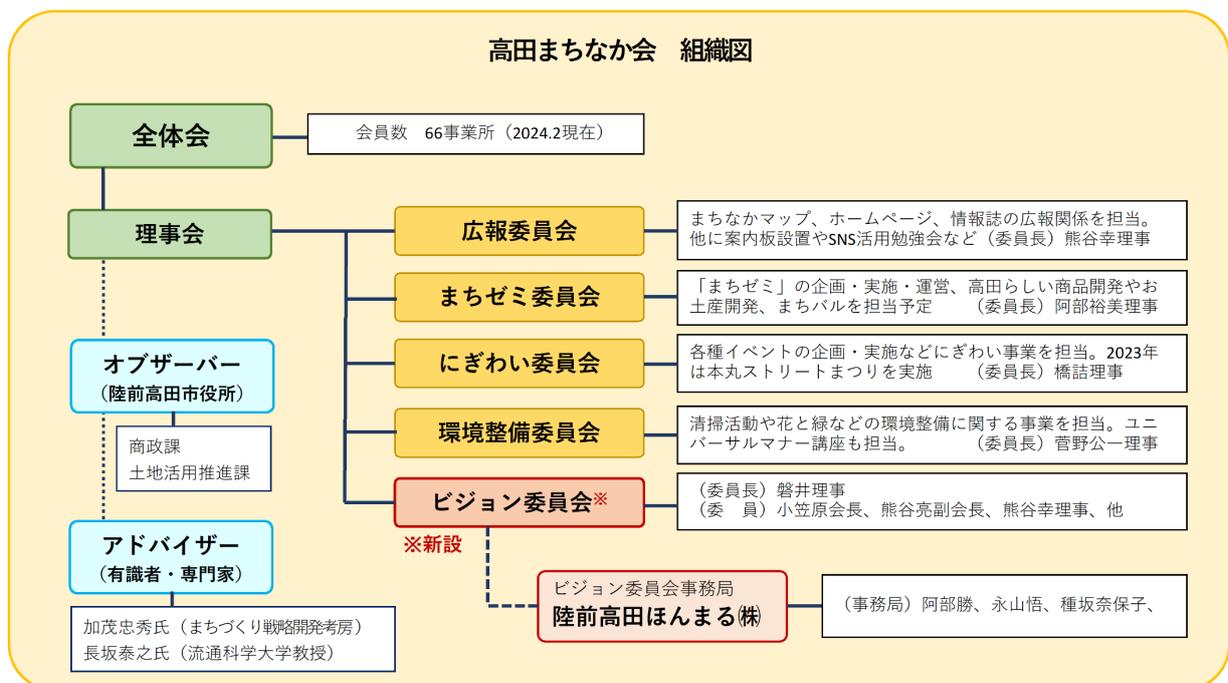
- ▶ 震災からの復興という同じ背景を持つ三陸沿岸他都市の視察より、同様な課題を抱えていること、その課題解決への取組みや問題などを学ぶことで、相対的な陸前高田市の特徴と今後進むべき方向性を学ぶことができた。

成果4 「委員会・報告会等を地元主導で企画実施することで、持続的に議論できる体制づくりを構築」

- ▶ 「ほんまる(株)」が主体となって、ビジョンの検討プロセスを企画提案。「視察からの学び」⇒「委員会での検討」⇒「視察報告会(情報共有)&全体会(合意形成)」の流れをつくり、持続的に議論できる体制づくりを構築した。

○高田まちなか会 組織図

※ビジョン策定のために、高田まちなか会の委員会の一つとして「ビジョン委員会」を設置。組織内に委員会として設置することで、継続的な推進体制づくりを構築した。



6. 今後の方向性

高田まちなかビジョンの具体施策の内、優先順位の高い施策の実践

ビジョンの具体施策を実現していくための官民連携の役割分担と実施体制を構築

- ・ まちづくりへの議論への参加者の拡大（市民を交えた意見交換等）と定期的なビジョン見直し。
- ・ ホテル建設（R7年5月オープン予定）を踏まえた地域・まちなか会と連携した対応等。

視察先の知見などから、施策を実現するための手法や仕組みづくりを検討

- ・ ビジョンの具体施策を実現していくための継続的な財源確保など（視察からの学び）。
- ・ ビジョンの達成度を把握するための指標の計測と評価の必要性（データによる評価分析）。

中長期スケジュール・フロー図等

高田まちなかビジョン 2023：中長期スケジュール（案）

| | 2024(R6)年 | 2025(R7)年 | 2026(R8)年 | 2027(R9)年～ 2033(R15)年 | 備考 |
|-----------|---|---|---|---|---------------------------------------|
| 広報委員会 | <input type="checkbox"/> まちなかマップ <input type="checkbox"/> まちなか物語 <input type="checkbox"/> 案内看板の設置 | <input type="checkbox"/> まちなかホームページ <input type="checkbox"/> SNS活用・勉強会 | | | ※赤字が新規施策 |
| まちゼミ委員会 | <input type="checkbox"/> まちゼミ <input type="checkbox"/> まちなかバル | <input type="checkbox"/> 高田らしい商品・お土産開発 | | | |
| 環境整備委員会 | <input type="checkbox"/> 清掃活動（環境美化） <input type="checkbox"/> 花と緑のプロジェクト <input type="checkbox"/> 本丸公園利用促進 | <input type="checkbox"/> 夜間回遊照明 <input type="checkbox"/> 回遊動線魅力化 <input type="checkbox"/> ベンチ等の充実 | <input type="checkbox"/> Photo Spotの充実 <input type="checkbox"/> イルミネーション <input type="checkbox"/> 本丸参道PR・照明設置 | <input type="checkbox"/> パナー・提灯・通り名表示事業 <input type="checkbox"/> 川原川公園利活用 <input type="checkbox"/> ユニバーサルデザイン・ユニバーサルマナー | |
| にぎわい委員会 | <input type="checkbox"/> 本丸ストリートまつり <input type="checkbox"/> ほんまるマルシェ <input type="checkbox"/> クリスマスイベント | <input type="checkbox"/> 歩行者天国 <input type="checkbox"/> 朝市・よ市 <input type="checkbox"/> まちなかのBGM | <input type="checkbox"/> 高齢者向けイベント <input type="checkbox"/> イベント・祭りとの効果的な連携 | | |
| その他（土地活用） | <input type="checkbox"/> 空き地利活用 <input type="checkbox"/> 学生若者との協働 <input type="checkbox"/> モビタとの連携 | <input type="checkbox"/> 周辺施設との連携（道の駅・CAMOCY・オーガニックランド・スノーピーク、野活） <input type="checkbox"/> まちなか公共施設との連携（図書館・博物館・一本松ホール） <input type="checkbox"/> ホテル客受入れ勉強会 | <input type="checkbox"/> 不足業種の充実（金融機関・クリニック等）※土地活用 | | |
| ビジョン委員会 | <input type="checkbox"/> ビジョン公表 <input type="checkbox"/> 来街者数カウント・分析（まちづくり効果検証） <input type="checkbox"/> 視察会・勉強会の開催 | | | | <input type="checkbox"/> 新ビジョン2034の策定 |
| 関連するまちづくり | <input type="checkbox"/> 旧吉田家住宅一般公開 | <input type="checkbox"/> ホテル開業 | 《震災15年》 | <input type="checkbox"/> 今泉 日本庭園「鏡魂の庭」 | |
| 陸前高田市 | まちづくり総合計画（2019～2028年） | | | | |
| | 都市計画マスタープラン（2020～2039年） | | | | |

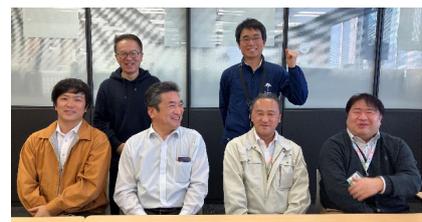
7. 取組主体・関係者の声

これまでの状況や今回の取り組みにおける工夫や苦労など

- ・ まちなか会会員が各自の事業も多忙の中、まちづくりや事業向上に向けた議論や実践の時間の確保が、重要とわかりつつも困難な状況。

ハンズオン支援事業で今回取り組んだ感想など

- ・ 復興庁、コンサルタントともに丁寧で手厚い支援をいただき、大変ありがたかった。



陸前高田市土地活用推進課（前列右3名）
 高橋課長、佐々木係長、村上課長補佐（並び順）
 陸前高田市商政課 佐々木課長補佐（前列左）
 陸前高田ほんまる株 阿部取締役、永山取締役（後列）